

2029年度 自動車点検表の報告対象年度(自動車点検表提出年度の前年度)を記載してください。

自動車点検表

1 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称	株式会社 東京〇〇
事業所の所在地	東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

2 排出量の算定根拠

(1) 対象となる自動車

算定対象の自動車は、指定地球温暖化対象事業所内を使用の本拠の位置とするすべての自動車（燃料種、車種、用途を問わず、指定地球温暖化対策事業者以外の事業者（テナント等）の使用自動車も含む）です。ただし、二輪車及び事業所内でのみ使用され公道を走行しない自動車（ナンバー付き自動車でないもの）については対象外です。

他者の自動車を利用することに伴い排出される温室効果ガス排出量については可能な限り把握し、地球温暖化対策計画書への転記又は別に定める内訳書により提出してください。

自動車点検表の対象事業所の名称と所在地を入力してください。

(2) 事業所内の自動車保有台数及び燃料等使用量

燃料種別	延べ台数(台/年)	前年度燃料等使用量	排出量
ガソリン	10	1800 L	4.122 t
液化石油ガス (LPG)	0		
天然ガス (CNG)	0		
軽油	0		
プラグインハイブリッド(ガソリン)	2	250 L	
プラグインハイブリッド(軽油)	0		
ハイブリッド (ガソリン)	0		
ハイブリッド (LPG)	0		
ハイブリッド (軽油)	0		
電気			
燃料電池			
合計			t

報告前年度の事業所内の自動車保有台数及び燃料等使用量の合計値を、車種別に記載してください。

数値を記載すると右列に自動車利用に伴って排出される温室効果ガス量が自動計算されます。

(2)で計算した結果を記載してください。報告年度については、自動で転記されますので、報告年度以前の結果について、過去の自動車点検表から転記してください。

3 事業所内の自動車による排出量の推移状況

	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
排出量	7.46 t	6.82 t	6.24 t	5.36 t	4.69 t
次世代自動車所有割合	0.06 %	0.10 %	0.15 %	0.24 %	0.29 %

次世代自動車には電気自動車と燃料電池車が該当します。

(1) 自動車を自ら使用する場合の地球温暖化の対応状況

自動車点検表①で記載した結果が自動で転記されます。

	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
取組状況 (実施対策/全対策数)	27 / 63	29 / 63	31 / 63	32 / 63	34 / 63

(2) 他者の自動車を利用する場合の地球温暖化の対応状況

自動車点検表②で記載した結果が自動で転記されます。

	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
取組状況 (実施対策/全対策数)	9 / 24	10 / 24	11 / 24	12 / 24	12 / 24

自動車点検表②

自動車の使用に係る現状の地球温暖化対策の計画・実施状況

自動車点検表①の対象となる自動車です。点検表記載の前に確認をお願いします。

- 事業者の取組ごとに、実施状況を確認し、実施している場合は取組状況欄の「○」を選択してください。
- 「その他」の取組がある場合は、欄内にその取組を記入し、取組状況欄の「○」を選択してください。
- 対策の対象自動車は、指定地球温暖化対象事業所内を使用の本拠の位置とするすべての自動車（燃料の種類、種別、用途を問わず、指定地球温暖化対策事業者が使用する自動車）です。（二輪車及び指定地球温暖化対策事業者以外の事業者（テナント等）が使用する自動車は対象外です。）ただし、フォークリフト等事業所内でのみ使用され、公道を走行しない自動車（ナンバー付き自動車でないもの）は除きます。

項目	事業者の取組	取組状況欄				
		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
H ト リ ー ン に 関 す る 対 策	燃費の記録管理	○	○	○	○	○
	燃費に関する定量的な取組	○	○	○	○	○
	エコドライブマニユアル	○	○	○	○	○
	エコドライブに関する取組	○	○	○	○	○
	エコドライブの実施は荷室温度の適正	○	○	○	○	○
	駐停車時のアイドリング	○	○	○	○	○
	優良ドライバーの表彰等	○	○	○	○	○
	エコドライブ装置の設置・装着搭載車の導入	○	○	○	○	○
	デジタル式運行記録	○	○	○	○	○
	エコタイヤ(省燃費)	○	○	○	○	○
機器の導入	取組状況欄は、計画期間通じて取組状況がどのように改善されるかを確認するため、報告年度だけでなく、過年度に記載した情報についても過去の自動車点検表から転記(コピー)してください。	○	○	○	○	○
車 両 の 有 効 利 用 の 促 進	アイドリング・ストップ	○	○	○	○	○
	キー抜きロープの導入	○	○	○	○	○
	エア・ヒーター、蓄熱	○	○	○	○	○
	外部電源による冷蔵	○	○	○	○	○
車両の維持管理	日常点検・整備マニユアル	○	○	○	○	○
日常点検・整備に関する教育・訓練の実施	○	○	○	○	○	
日々の始業点検・定期点検の完全実施	○	○	○	○	○	
エアークリーナーの定期的な点検	○	○	○	○	○	
運転日報の作成	○	○	○	○	○	
車 両 の 有 効 利 用 の 促 進	共同輸配送の促進	○	○	○	○	○
	輸送能力の有効活用	○	○	○	○	○
	荷物の確保	○	○	○	○	○
	時間指定の改善	○	○	○	○	○
	受注時間と配送時間のルール化	○	○	○	○	○
	検品の簡略化	○	○	○	○	○
	小口貨物の配送(宅配便等)における再配達削減	○	○	○	○	○
	道路混雑時の輸配送の見直し等	○	○	○	○	○
	パレット・荷姿・伝票等の標準化	○	○	○	○	○
	商品の標準化等	○	○	○	○	○
回送の削減	○	○	○	○	○	
自営転換	自家用貨物自動車による輸送から営業用貨物自動車による輸送への転換	○	○	○	○	○
モーダルシフトの推進	鉄道輸送の活用	○	○	○	○	○
運搬用自転車・二輪車等の活用	○	○	○	○	○	
海運等の活用	○	○	○	○	○	
自 動 車 使 用 の 抑 制	鉄道、バス等の公共交通機関の利用	○	○	○	○	○
	自転車シェアリングサービスの利用促進	○	○	○	○	○
	マイカー通勤の抑制(環境配慮と感染症対策等のバランスの確保)	○	○	○	○	○
	カーシェアリングの利用促進	○	○	○	○	○
	通勤用巡回バスの整備	○	○	○	○	○
テレワークやリモート会議の推進	○	○	○	○	○	
事業用自動車の自宅持ち帰りの抑制	○	○	○	○	○	
情 報 化 の 推 進	交通需要のモード選択におけるアプリなどの活用	○	○	○	○	○
	配車システムの導入・拡大	○	○	○	○	○
	求貨求車システムや車両荷室の空き状況と貨物のマッチングシステム等の活用	○	○	○	○	○
	VICS(道路交通情報通信システム)搭載カーナビゲーションシステム等による渋滞回避	○	○	○	○	○
	ETC(無線通信を利用して有料道路の通行料金を支払いを行うシステム)の導入	○	○	○	○	○
物 流 拠 点 や 車 両 待 機 場 の 整 備 等 に よ る 環 境 へ の 配 慮	駐車スペース、接車ハース等の予約システムの活用	○	○	○	○	○
	荷室の空き状況をリアルタイムで把握するシステムの活用	○	○	○	○	○
	物流拠点への集約による輸送の効率化	○	○	○	○	○
	荷さばき場、駐停車場所、運転手控室等の整備	○	○	○	○	○
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム 等	荷待ち時等における路上駐車等の自粛	○	○	○	○	○
	共同荷捌き場や大型ビルの館内配送の利用	○	○	○	○	○
	ISO14001の認証を取得	○	○	○	○	○
	エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証を取得	○	○	○	○	○
	グリーン経営認証の取得	○	○	○	○	○
	東京都貨物輸送評価制度の評価を取得	○	○	○	○	○
	グリーン・エコプロジェクトへの参加	○	○	○	○	○
環境報告書の公表	○	○	○	○	○	
そ の 他	「その他」の取組がございましたら、欄内にその取組を記入し、取組状況欄で「○」を選択してください。	○	○	○	○	○
	SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献する取組	○	○	○	○	○
	電気自動車の利用促進のため、EV充電設備を事業所に設置	○	○	○	○	○

自動車点検表③

自動車の利用に係る現状の地球温暖化対策の計画・実施状況
 (自らの貨物等は施設利用者等の貨物等の搬入のため他者の自動車を利用して)

自動車点検表②の対象となる自動車です。
 点検表記載の前に確認をお願いします。

- 事業者の取組ごとに、実施状況を確認し、実施している場合は取組状況欄の「○」を選択してください。
- 「その他」の取組がある場合は、欄内にその取組を記入し、取組状況欄の「○」を選択してください。
- 対策の対象自動車は、
 - ・ 指定地球温暖化対策事業者が貨物等の事業所内への搬入等のため利用している他者の貨物車（軽含む）及び特種用途自動車
 - ・ 指定地球温暖化対策事業者が通勤者及び来訪者等の自動車使用を抑制するために利用するバス（乗車定員11名以上）

項目	事業者の取組	取組状況欄				
		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
低公害・低燃費車等の利用割合の向上	貨物等を搬入する際には、低公害・低燃費車を使用して搬入することを、売主等との売買契約書等に記載すること又はそのことを施設利用者等に対して働きかけること。	○	○	○	○	○
	運送を委託して貨物等を搬入する際、運送事業者との運送契約書に記載すること。					
	入構許可証の交付時、搬入計画の確認すること。					
	貨物等を搬入する際には、環境負荷の大きな自動車を使用しないことを、売主等との売買契約書等に記載すること又はそのことを施設利用者等に対して働きかけること。	○	○	○	○	○
	運送を委託して貨物等を搬入する際、運送事業者との運送契約書に記載すること。					
	入構許可証の交付時、搬入計画の確認すること。	○	○	○	○	○
環境負荷の大きな自動車を使用しないことを求める（又は次世代自動車の利用を推奨する）掲示物を施設内に設置すること。				○	○	
物流効率化の推進による交通量の抑制	共同輸配送を推進するため、他者の貨物等と併せて輸配送することを受け入れること又はそのことを施設利用者等に対して働きかけること。					
	過度なジャスト・イン・タイムサービスを廃止する等納品回数を削減すること又はそのことを施設利用者等に対して働きかけること。					
	朝夕のラッシュ時、積載効率の低い曜日等を避けた輸配送を運輸事業者と共同で実施すること又はそのことを施設利用者等に対して働きかけること。	○	○	○	○	○
	効率的な物流活動が可能となる荷さばきのための駐車施設等関連施設を場内に整備すること。					
	建物内配送を一元化すること。			○	○	○
	貨物等の形状の標準化（既存のパレット・コンテナの使用等）について売主等と協議又はそのことを施設利用者等に対して働きかけ、また館内にパレット・コンテナ集積所などを設けること。					
	積載率向上のため、自ら過度の包装等の見直しを行うこと又はそのことを施設利用者等に対して働きかけること。					
	積載率向上のため、包装資材の軽量化等に取り組むよう売主等又は施設利用者等に対して働きかけること。					
共同輸配送など効率的輸配送を行う運送事業者を選択するよう売主等又は施設利用者等に対して働きかけること。		○	○	○	○	
適宜、運行指示書等の提示要求、包装資材等の確認等を行い、売主等又は施設利用者等に対する働きかけの実現状況を確認すること。						
エコドライブの推進	エコドライブを実施した輸配送を行うよう売主等に対して働きかけること。	○	○	○	○	○
	エコドライブの推進を求める掲示物を施設内に掲示すること。	○	○	○	○	○
体制の整備	物流効率化、エコドライブの推進に係る社員教育を実施する又は施設利用者等に対して物流効率化、エコドライブの推進等を実施するよう働きかけること。	○	○	○	○	○
	運送事業者等の取組状況を、適宜、把握するとともに確認できるような体制を整備すること。					
	売主、運送事業者等又は施設利用者等との連携のために協議会を設置する等の取組を行うこと。					
の貨物自動車送交以外	通勤者の自動車使用を抑制するための取組を行うこと。	○	○	○	○	○
	「その他」の取組がございましたら、欄内にその取組を記入し、取組状況欄で「○」を選択してください。	○	○	○	○	○
その他						